

# 屋敷に関するもの

## 江花 七 森

《上江花》

上江花は長沼宿より勢至堂宿の間にあり、もと合の宿ともいわれた。宿場として、家並が発達する以前は、七つの森に分散してあった。

その七つの森とは、次の森をいう。

### 一、地蔵の森

今は字竹の内、地蔵堂があつた。のちに地蔵堂は屋敷の中の現在の地に移つた。この森には大きな樺の大木があつて江戸城の扉にこの樺板が使われたと伝えられる。

この地蔵様が、童子の姿となつて現われ、荒代がきの鼻取りをしたと伝えられる。地蔵の森の跡に、地蔵様の石碑が建てられてある。

### 二、姫の森

雷神の森

